

#### 4 学校教育計画

項 目		目 標・方針及び計画	
(1)	進路支援	目 標	本校の進路目標（高南スタンダード）を全職員で共有し、学習習慣形成や高い志望の設定など3年間かけて挑戦する気持と諦めない心を全校協力態勢で育成することを通して、高南スタンダードを達成する。
		計 画	① 学習習慣形成については初期指導を重視する。また、面接週間以外でも校外模試後の面接を必須とするなど面接指導の充実を図る。 ② 高い志望校の設定を指導し、面接によって支援しながら挑戦する気持ちと諦めない心を育成する。 ③ 大学入学共通テストの対策として、思考力問題の作成・実施・検証・改善のサイクルを全校的に推進する。 ④ <b>1・2年生においてはハイレベル模試受験を促すとともに模試対策講座を実施し、モチベーションを高める。3年生は金大模試や難関大模試など、学力層別の対策を講じる。</b>
(2)	学校生活	目 標	(1) 学校生活に主体的に取り組む生徒集団を形成する (2) 生活の基本となる食の理解と習慣を定着させる
		計 画	(1) <b>委員会を中心に生徒自身が考え、実践する機会を提供する。</b> (2) HR活動を通じ、食の理解を深め、朝食習慣の定着、質の向上を図る。
(3)	学校の活性化	目 標	将来への大きな志を持ち、主体的に学び活動する生徒の育成を図る
		計 画	① <b>キャリアデザイン・プロジェクトSを工夫して、進路目標が明確になるように企画する。</b> ② <b>学校行事</b> に際し、地域住民に対して <b>広報活動</b> を行う。 ③ 公共図書館や大学図書館との相互貸借により、探究的な活動における情報活用能力の育成をはかるとともに「自学」の習慣を身につけさせる。 ④ 人文科学コースの充実をはかる。
(4)	ボランティア活動	目 標	1 学年：生徒のボランティア意識の向上 2 学年：自発的なボランティア意識の向上 3 学年：地域と連携したボランティア活動への意欲的な取り組み
		計 画	1 学年：①身近なボランティア活動をクラス単位で企画し実践する。 ②生徒会のボランティア企画への参加を促す。 2 学年：①生徒会のボランティア企画や部活動、クラス単位での積極的な参加を促す啓発活動を行う。 ②校内外のボランティア活動の情報提供に努める。 3 学年：①ボランティア活動が実践できるようホームルーム計画を立てる。 ②生徒会のボランティア企画への参加を促す。

(5)	授業力向上	目標	他教科の授業（新テスト対策を含めた）の互見授業参観を実施する 若手教員と中堅教員、ベテラン教員が相互に学び合う校内研修を実施する 新テスト導入に関する外部講師を招いた校内研修を実施する
		計画	<p>(1) ①互見授業期間に各教科1名以上の指定公開授業を行う。</p> <p>②他教科の授業を含めて、授業を2回以上参観する。</p> <p>③報告書を書くことで自分自身の学びを確認する。</p> <p>(2) 進路指導部と連携しながら、若手教員の受験指導について学びあう校内研修を実施する。</p> <p>(3) 新テストに関しての校内研修を通じて、新制度への理解を深め、今後の教育活動改善に役立てる。</p>